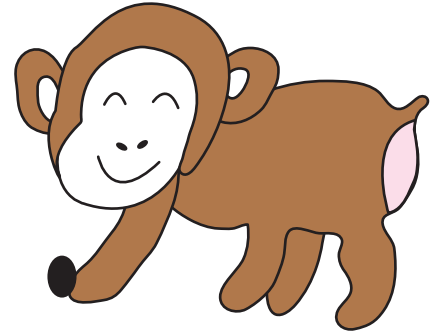


とば すいぞくかん むかしばなし  
鳥羽水族館で昔話

## さるかに合戦<sup>がっせん</sup>



むかしむかし、カキの種<sup>たね</sup>をひろったサルが、おにぎり<sup>もち</sup>を持ったカニと出会いました。

サルはおにぎりが欲しくなり、

「このカキの種をまけば、毎年<sup>まいとし</sup>おいしいカキの実<sup>み</sup>になるよ。

おにぎり<sup>こうかん</sup>と交換しようか？」

カニは大喜び<sup>おおよろこ</sup>で家に帰り、カキの種をまきました。

芽<sup>め</sup>が出てきて、カキが実りました。

でも、カニは木登り<sup>きのぼり</sup>が出来ません。

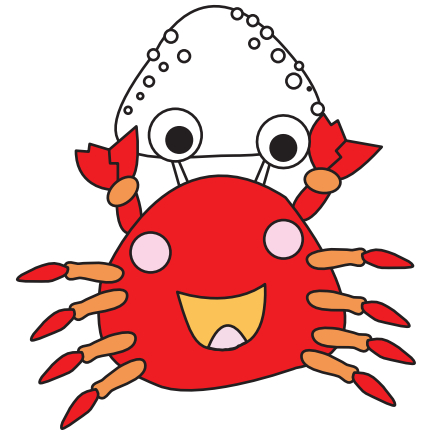
困<sup>こま</sup>っていると、サルが言いました。

「もう実ったのか。とってやろう」

サルは木に登ると、赤いカキの実<sup>あか</sup>を食べ<sup>たべ</sup>始めました。

「わたしにもカキを<sup>くだ</sup>下さい」

こうたのむカニにさるは、まだ青くて固いカキの実をぶつけました。



天<sup>あお</sup>けがをしたカニは、泣きながら家に帰り、おみまいに来たうすと八チとクリに、そのことを話しました。

みんなは、サルの家に行き、こっそりかくれて帰りを待ちました。

サルが帰ってきていろりにあたらうとしたとたん、

クリがパチーンとはじけて、サルのお尻<sup>しり</sup>にぶつかりました。

お尻<sup>ひ</sup>を冷やそうと水<sup>みず</sup>がめのところへ来ると、

八チにチクチクと刺<sup>さ</sup>されました。

死<sup>し</sup>へ逃げ<sup>にげ</sup>出すと、屋根<sup>やね</sup>からうすがドシーンと落<sup>お</sup>ちてきました。

「意地悪<sup>いじわる</sup>はしないから、ゆるしてくださいーい！」

それからサルは、みんなと仲良<sup>なかよ</sup>くなりました。